

# 蚊の出没条件を調べる

## 調べる方法



(1) 天候の違い

(1)の条件で①晴れの日、②雨の日で比較する。

(2) 汗の量の違い

(1)の条件で①汗無し、②汗有りの条件で比較する

(3) 血液型の違い

(1)で調べた一番蚊が出没する時間で①A型と②O型を比較する



一般的には  $25 \sim 30^{\circ}\text{C}$  が蚊の活動カピークである

## 自分の予想

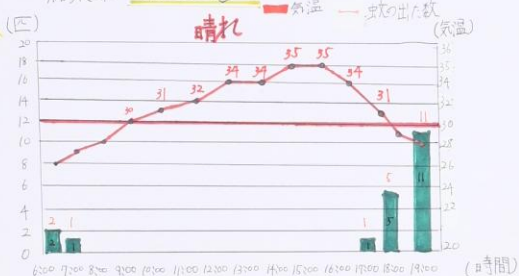
(1) 晴れの日 は涼しい時間に来そう。雨の日 は少し少なそう。

(2) いつも運動の後にいばい来るから汗ありの方が多そう!

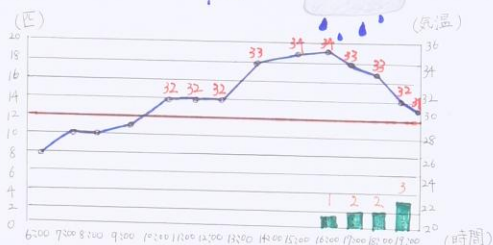
(3) 蚊からはO型が人気だけど、意外とA型も多そう!



### 結果(1) 天候の違い



### 雨



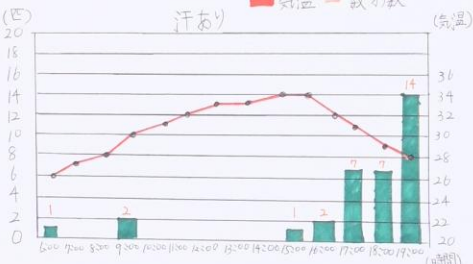
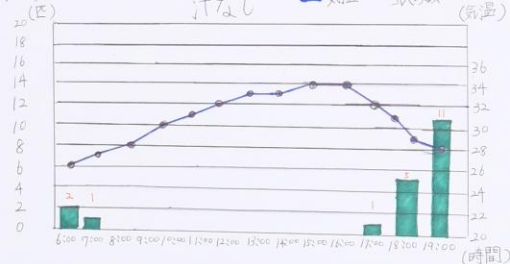
考察

・ $30^{\circ}\text{C}$ 以上でも活動していることが分かり蚊も温暖化に適応してきているのではないだろうか。  
・夕方は蚊の活動のピークだと分かった。

考察

・雨の日の方が蚊の出没が少ない。  
・小雨程度なら蚊は出沒することが分かる。  
・雨粒は蚊の体重の100倍以上ある。飛ぶことが出来ない。

### 結果(2) 汗の量の違い



考察

・汗をかいた状態の方が蚊の出没が多い。  
・汗の成分の感知していることが分かる。  
・ $30^{\circ}\text{C}$ 以上の条件でも汗をかいていると蚊に刺されるリスクが高い。

### 結果(3) 血液型の違い

結果

初め 30秒あたりはA型寄りだったけど途中からだんだんとO型の方が刺されやすくなった。

考察

汗の体液で皮膚に分泌している蚊はそれを感知できるとされる。

## 生活の時どう活かすか

- ・夜、外で立ち歩く時は、虫よけやタオルなどを持って蚊に刺されるのを少なくする。
- ・外が $30^{\circ}\text{C}$ を超えていても蚊は出沒する可能性があるがあるのでこまめに汗をふいておく
- ・家の外に蚊とり線香などを置いておく。